

# 農村RMO推進フォーラム

2024年12月19日

## 七和まちづくりネットワーク

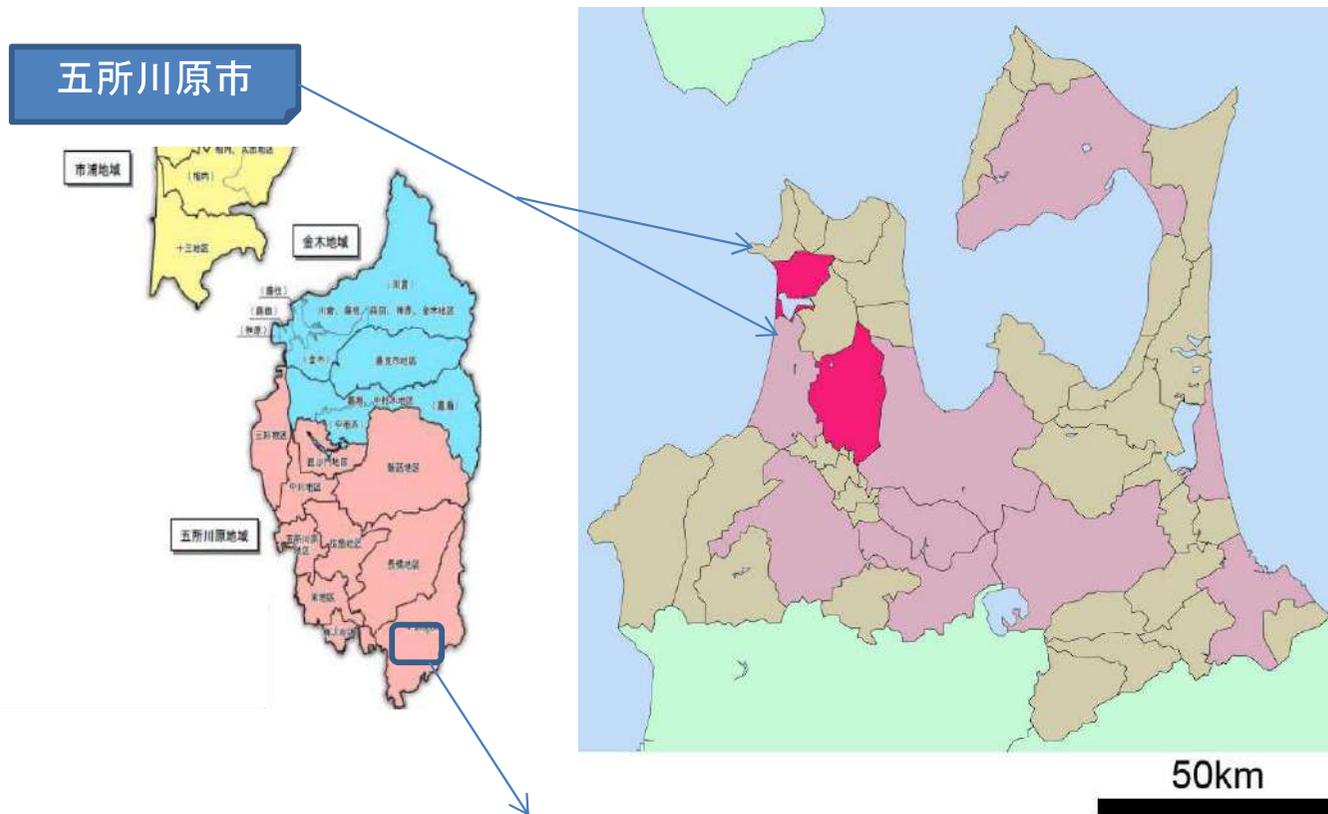


“和”からあう暮らし

七和スタイル

Creating a new culture

# 七和地区の概要



七和地区  
(俵元、原子、羽野木沢、持子沢、高野、前田野目)

# 活動の原点

昭和の大合併(1956年)当時 人口 4,463人

現在(令和6年(2024年)10月末)の七和地区の人口は1,589人(762世帯)

※私たちが活動し始めたころ(2014年)2000人を超えていた人口が9年間で約400人減少  
16年後の2040年は確実に1000人を切る

学校がなくなり、店がなくなり、祭りがなくなり、郵便ポストやATMが消え、バス路線が廃止になる

このままこの地域に住み続けることができるのだろうかという  
「そこはかたない不安」が活動の原点

# 取組み

地域の課題を見つけて解決方法を探る



ダンベル体操(地域拠点の強化)



七和米の開発(産業振興)



間伐材の商品可能性(産業振興)



2024. 12. 19

薪づくり(産業振興)



# 移動販売車「七和楽々号」の取組

青森県民生活協同組合と七和地区活性化協議会が協定を締結  
29年11月から運行開始し、県内外から注目を集めている。



全国ニュースでも取り上げられた。  
(テレビ朝日系 スーパーJチャンネル)

# 地域資源を活用した外貨獲得



# 地域の身近な課題解決

## 七和地区お出かけサービス



# 令和6年度 農村RMOスタートアップ事業

## 地域資源の活用(高付加価値化) 棒掛け自然乾燥米の真空パック商品の開発

- ・高付加価値化を目指すため、検討会を開催し市場から評価されるための専門的なアドバイスを得ながら本格的な商品開発を目指す。
- ・消費地とのかかわりを通じて先進的に取り組んでいる事例を視察して取り組みの参考にする。

## 交流人口の創出 七和収穫感謝祭の開催

- ・自然乾燥米の美味しさや七和地区のすばらしさをPRするための収穫感謝祭を開催する。

# 七和収穫感謝祭の開催



2024. 12. 19



ご清聴、  
ありがとうございました。